

# 体験活動推進プロジェクト 防災キャンプ推進事業

佐賀県防災キャンプ推進事業

佐賀県

## 【事業のポイント】

- 佐賀県で起こりうる災害として、より現実的である災害種別を想定した防災キャンプを行う。
- 地域に広げていくため、それぞれの実情に合った形態や内容で行う。  
(伊万里市教育委員会に再委託、土砂災害型を想定)



安全マップ作り～大雨が降ったらどうなるかな？

## 1. 企画

### (1) 事業実施の背景

佐賀県では、平成24年度に1箇所(みやき町)、平成25年度に2箇所(佐賀市内)で防災キャンプを行い、参加した子どもたちだけでなく、家庭や地域の防災意識の向上を図ることができた。一方で、佐賀県は災害が少ないこともあり、地域によって防災意識に差があり、全県的にみるとまだまだ防災意識が高いとは言えない。

### (2) ねらい

子どもたちと保護者や地域住民などの大人がともに模擬避難所体験などの体験活動をしたり地域の防災について学んだりする防災キャンプを実施し、その成果を広く県内に普及啓発し、防災教育の推進を図る。

## 2. 事業概要

### (1) 運営体制

事務局 佐賀県文化・スポーツ部まなび課  
 企画・検証 企画運営委員会(委員6名)  
 青少年教育・社会教育関係学識経験者1名 県防災士会1名  
 県消防防災課1名 伊万里市防災危機管理課1名 伊万里市教育委員会生涯学習課2名  
 防災キャンプの実施 伊万里市教育委員会(再委託)  
 地区実行委員会(防災キャンプ実施地区ごとに)  
 小学校関係者・公民館関係者・小学校PTA関係者・子ども会関係者  
 自治会関係者等  
 連携・協力 伊万里市立大坪公民館・伊万里市立松浦公民館  
 伊万里市立大坪小学校・伊万里市立松浦小学校  
 伊万里市立大坪小学校PTA・伊万里市立松浦小学校PTA  
 日本アマチュア無線連盟佐賀県支部・大坪地区子ども会連絡協議会  
 伊万里市防災危機管理課・伊万里市消防本部  
 佐賀県防災士会・松浦町食生活改善推進協議会

### (2) 開催実績

月 日	内 容
5月16日～	事業日程の調整及び運営体制の検討
9月1日	第1回佐賀県防災キャンプ企画運営委員会
10月3日～10月5日	松浦地区防災キャンプ(伊万里市教育委員会に再委託して実施)
10月10日～10月12日	大坪地区防災キャンプ(伊万里市教育委員会に再委託して実施)
11月18日	第2回佐賀県防災キャンプ企画運営委員会
12月19日	佐賀県防災キャンプ推進フォーラム

### 3. 防災キャンプ実施概要

#### (1) 松浦地区防災キャンプ(土砂災害型)

- ・実施日:平成26年10月3日(金)～平成26年10月5日(日)
- ・実施場所:伊万里市松浦公民館

#### ・プログラム

10月3日(金)

- 15:50 防災避難訓練出発式
- 16:15 防災避難訓練
  - ・災害時を想定し、小学校から避難場所(公民館)へ移動
- 17:00 開講式
- 17:20 オリエンテーション
  - ・オリエンテーション、危険予知トレーニング
- 17:50 避難所作り
  - ・模擬避難所を設営する。
- 18:40 避難所について(講話) <佐賀県防災士会>
- 19:00 夕食・片付け
  - ・火を使わずに食べることができる防災非常食を体験する。
- 20:00 避難所作り
  - ・弱者を想定しながら模擬避難所を設営する。
  - ・ダンボールでパーテーションをつくる。
- 20:30 避難所ルール作り
  - ・班で話し合いながら避難所のルールを作る。
- 21:00 リーダー会議
  - ・避難所ルールの決定
- 21:30 清拭タイム・就寝準備
- 22:00 就寝

10月4日(土)

- 6:00 起床 洗顔  
ラジオ体操 清掃
- 7:00 朝食・片付け
  - ・簡単な調理で食べることができる非常食体験をする。
- 8:10 仮設炊飯所づくり
  - ・仮設の炊飯所を設営する
- 9:30 マップづくり現地確認 <実行委員>
  - ・豪雨災害時は、どのような場所が危険になるか、実行委員と一緒に公民館周辺を歩いて確認する。
- 10:40 昼食準備
  - ・仮設の炊飯所を設営する
  - 昼食・片付け <松浦町食生活改善推進協議会>
  - ・炊き出し体験(焼きそば、巻パン)  
子どもたちを中心とした参加者が協力して昼食作りをする。
- 13:30 救助体験 <伊万里消防署>
  - ・消火、担架での搬送を体験しながら救助方法を学ぶ。



毛布担架で搬送  
(救助体験)

- 16:00 夕食準備 <松浦町食生活改善推進協議会>  
・ 炊き出し体験(カレーライス作り)  
子どもたちを中心とした参加者が協力して夕食作りをする。  
夕食・片付け



うまくできるかな  
(炊き出し体験)

- 18:30 災害について考えよう <実行委員>  
・ 自分たちの住む松浦町の過去の災害体験談や東日本大震災の被災地支援に行かれた町民の体験談を聞いて、自分たちの地域で災害が起きた時の対応について話しあい、発表する。

- 19:00 班会議・リーダー会議  
・ 避難所ルール作り  
19:30 清拭タイム  
20:30 就寝準備  
21:00 就寝

10月5日(日)

- 6:00 起床 洗顔  
ラジオ体操  
7:00 朝食・片付け  
・ 牛乳パックを使った簡単な調理法を知り、実際にやってみる。(ホットドック作り)  
清掃・荷物の片付け  
・ 避難所撤去作業  
8:45 防災対策を考えよう <伊万里市防災危機管理課>  
・ 自分たちの住んでいる地域の防災対策について学び、自分たちにできることが何なのかを考える。  
・ 公民館周辺の危険箇所マップを作り、発表する。  
10:30 閉講式  
11:00 解散

(2)大坪地区防災キャンプ(土砂災害型)

- ・実施日:平成26年10月10日(金)～平成26年10月12日(日)  
・実施場所:伊万里市大坪公民館

・プログラム

10月10日(金)

- 17:00 開講式  
・ オリエンテーション、危険予知トレーニング  
17:45 夕食準備  
18:00 避難所について <佐賀県防災士会>  
・ 避難所について学び、自分たちの模擬避難所を設営する。  
19:00 夕食  
・ 食器を汚さない防災非常食体験  
片付け  
20:00 避難所作り  
・ ダンボールでパーテーションをつくる。  
・ 自分たちで話し合い、弱者を思いやりながら避難所のルールを作る。  
21:30 就寝準備  
就寝

10月11日(土)

- 6:00 起床 洗顔  
ラジオ体操 清掃

7:00 朝食準備 <大坪地区子ども会連絡協議会、主任児童委員>

- ・ 炊き出し体験(豚汁作り)
- 子どもたちを中心とした参加者が協力して朝食作りをする。

朝食・片付け

8:30 伊万里市の防災対策について(講話)

<伊万里市防災危機管理課>

- ・ 伊万里市の防災対策について知る。

9:30 着衣水泳体験 <スイミングスクールインストラクター>

- ・ 水難事故時の対応方法について学ぶ。



水難事故時の対応方法について学ぶ  
(着衣水泳体験)

12:00 昼食

- ・ 火や水を使わずに食べることができる防災非常食(パン缶)を体験する。

13:00 情報伝達訓練体験 <日本アマチュア無線連盟佐賀県支部ほか>

- ・ トランシーバーやモールスコードを用いた情報伝達訓練を体験する。

14:00 安全マップづくり現地確認 <安全マップ指導員>

- ・ 豪雨災害時は、どのような場所が危険になるか、地域住民の方と一緒に公民館及び学校周辺を歩いて確認する。



過去の災害について知る  
(講話)

16:00 大坪地区の災害について知る(講話) <地域住民>

- ・ 昭和42年の水害をはじめとする過去の災害を知ることで、自分たちの住む地域で起こり得る災害について学び、災害がおきた時の対応について考える。

17:00 夕食準備 <大坪地区子ども会連絡協議会、青少年育成町民会議>

- ・ 炊き出し体験(カレーライス作り)
- 子どもたちを中心とした参加者が協力して夕食作りをする。

夕食・片付け

19:00 安全マップを考えよう <安全マップ指導員>

- ・ 現地で確認した内容をもとに、グループ毎に、自分たちが住んでいる地域の災害時の危険箇所、避難経路を調べ、マップにする。

21:00 就寝準備

21:30 就寝

10月12日(日)

6:00 起床 洗顔  
ラジオ体操 清掃

7:00 朝食準備

- ・ 牛乳パックを使った簡単な調理法を知り、実際にやってみる。(ホットドック作り)

朝食・片付け

荷物の片付け

清掃

8:30 防災キャンプをふり返る

- ・ 3日間の活動をふり返り、地域の防災について自分たちにできることが何なのかを考える。

9:30 安全マップの完成・発表

- ・ 自分たちが住んでいる地域の災害時の危険箇所、避難経路を調べて完成させた安全マップをグループ毎に発表する。

10:30 閉講式

11:00

#### 4. 普及啓発の実施概要

##### 《佐賀県防災キャンプ推進フォーラム》

・趣旨 防災キャンプの成果について防災キャンプの参加者自身の意見を発表したり、地域における防災教育について学んだりすることで、防災キャンプをはじめとする体験を通じた防災教育の普及推進を図る。

・期日 平成26年12月19日(金)

・場所 伊万里市民センター文化ギャラリー

##### ・プログラム

13:30 開会行事

あいさつ 佐賀県文化・スポーツ部まなび課長 松原 美寿

13:35 報告「防災キャンプ 概要と成果」

防災キャンプ推進事業事務局  
実施小学校児童

・幸島 大和さん(伊万里市立松浦小学校6年)

・山下 蓮さん(伊万里市立松浦小学校6年)

・川原 健裕さん(伊万里市立大坪小学校6年)

14:10 講演「東日本大震災にみる学校と地域とのつながり」

九州大学大学院人間環境学研究院 講師 田北 雅裕氏

15:00 休憩

15:10 シンポジウム「防災キャンプをとおして防災の地域づくりを考える」

コーディネーター 西九州大学 健康福祉学部 准教授

山田 力也 氏

助言

九州大学大学院人間環境学研究院 講師

田北 雅裕 氏

佐賀県防災士会事務局長

小林 紀 氏

シンポジスト

伊万里市立松浦小学校教諭

松尾 暢弥 氏

大坪地区子ども会連絡協議会会長

末次 健太郎 氏

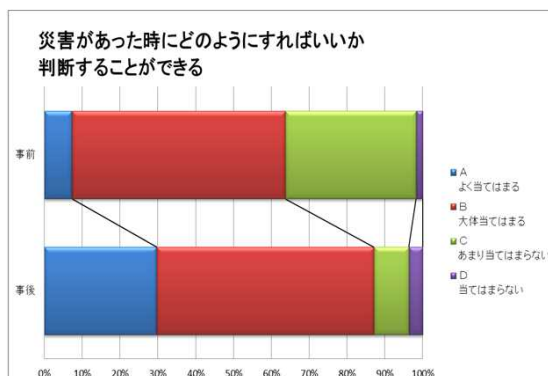
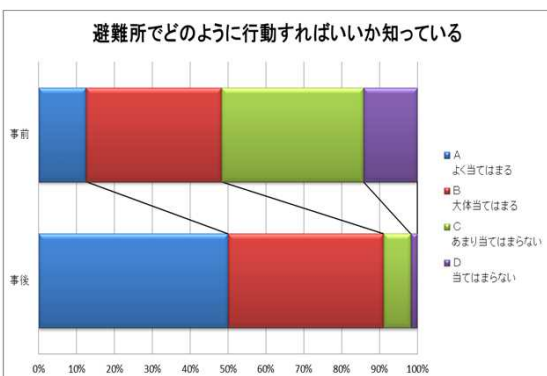
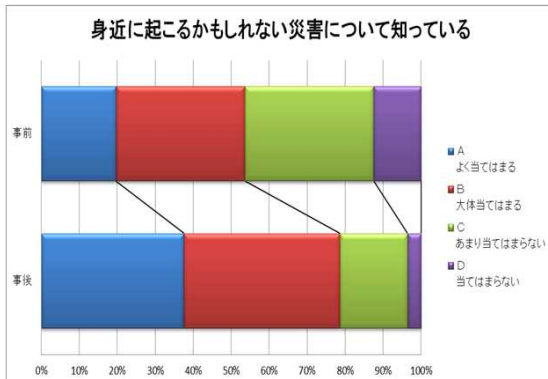
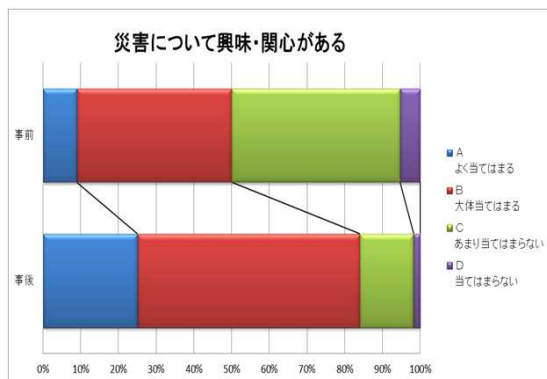
伊万里市教育委員会生涯学習課生涯学習係長

松尾 貞裕 氏

#### 5. 成果と課題

##### (1) 事業成果

##### アンケート結果(事前・事後比較)



#### 【防災キャンプ】

- ・ 体験を伴う活動を取り入れること、また地域で起こりうる災害について学んだり、実際に過去に起きた災害についての話を聞いたりすることで、防災についての知識や防災意識を高めることができた。プログラムや支援体制など、それぞれの地区の実情に合った防災キャンプの実施ができたためと考える。
- ・ 模擬避難所体験をしたり、話を聞いたりすることで、避難所がどのようなものであるかを具体的につかみ、様々な事情を抱えた人たちが避難所で一緒に過ごすことをイメージすることができた。自分がどのように行動したらよいかについて考えることができた。
- ・ 防災について体験して勉強ができ、いざという時の訓練ができてよかったという声など、子どもたちと一緒に学んだり、キャンプ終了後に子どもたちが話したことを聞いたりすることで、保護者の防災意識の向上につながった。
- ・ 帰宅後に非常食や非常バックを準備したり、避難の仕方について具体的に家族で話をしたりするなど、子どもたちの学びをもとに防災への備えをした家庭が見られた。
- ・ 地域の方にとっても、防災の視点で地域を見直すきっかけになるよい機会になった。アンケートの記述でも、地域の中で避難所、避難経路が話題になるなど、広がってきている。

#### 【防災キャンプ推進フォーラム】

- ・ 学校や地域と連携した防災教育という視点を提供することができた。
- ・ 防災キャンプ参加者に「概要と成果」のところで防災キャンプの感想を話してもらったり、その後のシンポジウムの中でも発言をしていただいたりしたことで、防災キャンプの取組や成果について具体的に伝えることができた。また、一度のキャンプで全てを取り込むのではなく、今回はこのテーマで、次はこの視点で、というように柱を決めて、継続して取り組んでいくことが大切であることがシンポジウムの中で話題になった。助言者からは、他のプログラム例や、通学合宿に防災キャンプを取り入れた例などの紹介をしていただいた。防災キャンプのプログラムを地域や学校の防災教育の中に取り入れていくにはどうすればよいか、実施や活用に向けての意欲、見通しをもっていただくことができた。
- ・ 講演で学校と地域とのつながりについて話していただき、実践的な命を守る学びとするためのヒントをいただいた。シンポジウムでは防災キャンプの実施体制づくりについて話題にした。それぞれの地区で違いがあり、継続していくための取組など、その地域に合った取組を具体的に示していただいた。防災意識をもつことの大切さ、その地域に合った防災に向けての地域づくり、なるべく多くの子どもたちが防災キャンプに参加できるような仕組みづくり、学校内に今ある防災に関する教育をもう一度見直してみたいという声など、学校や地域と連携して取り組んでいくことへの意欲や見通しをもっていただくことができた。

#### (2) 事業運営上の課題・留意点

##### 【防災キャンプ】

- ・ 他の地域での実施に広げていくには、その地域に合った防災に向けての実施体制づくりが大切になる。松浦地区の学校との連携の取組や、大坪地区の既存の組織を活用した防災キャンプの実施など、参考にできる。

##### 【防災キャンプ推進フォーラム】

- ・ 県内小中学校、公民館等も含め、広く参加者を募集したが、学校関係者の参加が少なかった。学校関係者を含めた防災教育に関する意識をどのように深めていくのか課題が残る。

#### (3) その他

昨年度県が2泊3日の防災キャンプを地区公民館と協力して行った地区で、今年度は町の自治会や公民館が中心となって1泊2日の防災キャンプが行われた。子どもたちを中心に、地域で連携して取り組み、地域のそれぞれの実情に合ったものにするので、今後、このような取り組みが広がっていくものと考えている。

## 6. 団体プロフィール

佐賀県 文化・スポーツ部 まなび課

〒840-8570

佐賀市城内一丁目1-59

TEL 0952-25-7313

FAX 0952-25-7406

MAIL manabi@pref.saga.lg.jp

